

こんにちは。私は韓国から来た「日韓プログラム」のアン・ソッキュと申します。

ここにいらっしゃる留学生の皆さんが留学を決めたきっかけは何ですか。

おそらくそれは気楽な話ではないでしょう。

それでは、私が留学を決める時さんざん悩んだ話と、その時役に立った「鳥かご」の話をしようと思います。

私はどこにもいる平凡な学生でした。

高校3年生の時、私も周りと同じように大学の受験勉強をしていました。

ある日、政府から日本の大学に留学させる「日韓プログラム」について知るようになりました。

憧れていた留学の機会が突然訪れた時、私は悩み始めました。

今から勉強したとして合格はできるのか？一人暮らしは？言語の問題は？

しかし、あの頃の私はその主な原因を、言葉で表すことができませんでした。

その後、悩みのせいで勉強は全然できませんし、寝ようとしても眠れない日々が続きました。

悩みを解決する手がかりになったのは、ネットで見つけたある留学手記でした。

その手記のタイトルは「鳥かごを出たことのない鳥は飛べない」で、留学の長所と自分が経験したことについて書いてありました。

多分その人にとって鳥かごは国を示し、留学してはじめて考え方が広がる、と言いたかったでしょう。

それを読んで、では私にとって鳥かごは何なのか、自分に質問してみました。

極めて楽な環境を提供するのが、飛ぶのを妨げてしまう鳥かご。

私にとってそれは、皆と一緒にいようとする、一緒に行動しようとする、ということでした。

そしてそれが今まで私を悩ませた主な理由でした。

私は自分で決めたことが一つもなく、ただ周りの流れに人生を任せていたのです。

それが分かったとたん、悩みが消えたところか、必ず留学に行こうと、強く思いました。

心臓が早く働き始めました。

私はその日からすぐ留学の勉強を始めました。

一人で留学の勉強をするのは、大変難しくて寂しいことでしたが、私は鳥かごの中において、今はそこから抜けている途中だと思い、頑張り続けることができました。

そして、私は試験に合格し、今この場所にいられるようになりました。

実はまだ、私は自分にとって「飛ぶ」のが何か、いまいち分かりません。

その代わりに、目の前の鳥かごが何かを考えて、そこから抜けていこうと決めました。

そうすれば、いつか飛ぶのが何か分かって、飛べる日が来るでしょう。

では、あなたにとって鳥かごは何ですか。次はあなたの話を聞かせてください。

ご清聴ありがとうございました。